

「家庭菜園、40年」

榎戸材木店
会長 榎戸正人

結婚して浦安市に移り住み、すぐに家の横の空き地で家庭菜園を始めました。もう40年も前のことですが、いまだに菜園は続いています。元々、生まれてくる(であろう)子供のことを考えて安心、安全で新鮮な野菜を食べさせたいと思ったからですが、料理が趣味なので食材の野菜を育てたいということもありました。

初めて作ったのはトマトで、これが大成功！300個ほども取れて食べきれずにご近所にお配りしたのですが、それが病みつきとなって畑を拡張していき、作る野菜の種類も増えていきました。年間57種類の野菜を育てたこともありました。

その後は海外出張が多くなったため、手入れが出来ずにジャガイモやニンニクなど手の掛からない野菜だけになりましたが、社長の座を長男に譲ってからは、また復活。毎日早起きして、水撒きや手入れに明け暮れています。夏場は雑草との戦いですが、無農薬で育てているので虫の害は無視。そのために食害を受けやすい葉物の野菜は作るのを避けています。

山で木を育てるのには数十年も掛かりますが、野菜は数か月。結果がすぐにわかるので、その分、手入れにも力が入ります。手を掛ければ掛けるほど順調に育ってくれるところは、子育てよりも楽で確実かも……

育てる野菜によって与える肥料も異なり、水やりの回数も違ってきます。本や雑誌を読んではみるものの、やはり経験に勝るものはありません。毎年、新しい発見があり、それも楽しみの1つです。

ナス、トマトが「ナス科」の植物だと言うのはわかりますが、ジャガイモも「ナス科」だと言うことは、あまり知られていません。同じ科の野菜は同じ場所で育てると連作障害を起こすので毎年植える場所を変えなくてはならず、狭い畑の割り付けに苦労しています。

それでも、蒔いた種が目を出し、植えた苗が順調に育ってくれるのを毎日眺めていると、手入れをする苦労も吹き飛んでしまいます。収穫の楽しみよりも、育てる楽しみの方が大きいのかも知れません。

簡単な野菜ならマンションのベランダでも作れますので、ぜひ皆様も野菜作りにチャレンジしてみてください。



綺麗な絹サヤエンドウの花



咲き誇る絹サヤエンドウの花